

---

# 転生妄想日記

B M黒流星

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

転生妄想日記

### 【Nコード】

N3473BA

### 【作者名】

BM黒流星

### 【あらすじ】

目が覚めたら神様が転生しないかといってきた

いつのまにか神に氣にいられた俺

ネギまの世界に行つてこい？

原作崩壊OKだって・・・いいだろう行ってやんよ

！  
オリ主によるチート&ハーレム？の【転生妄想日記】はじまります

## プロローグ？（前書き）

処女作です！

至らぬ点や誤字脱字があったらいつて貰えると幸いです

## プロローグ？

「転生してみないか？」

何言っただこの爺www

夢かwww

最近疲れてるしな

「おい無視するじゃない！」

なんだよ寝させろよ・・・

最近疲れてるっていつたろ

だいたいここ何処だよ？

なんだこのアリール使ったような白い部屋は（笑）

「だから無視するんじゃないわい（怒）」

ハァーいいかげん相手してやるか

「で、あなたは誰なんですか？」

「ほっやっとな話を聞いてくれるのかのー？」

【心情：まず誰か聞かなきゃ話にならんだろ】

「ああ まずここは何処なのかとあなたは何者なのかを教えてください  
さい？」

「儂は、神じゃ！」

は、今何て言ったこのジジイボケたかボケてるのかボケてるんですか三段活用ww上条さんごつと

「は、神・紙・髪・いやここはまさかの加味？」

「いや、こちらに聞かれても??だーかーら神じゃよ神ゴツトじゃ  
！」

えっ！神、ゴツトこのジジイ今自分のことゴツトって言ったな、ボケてるんじゃないか危ない人かよ  
やべーよ目合わせないようにしなきゃな  
いい医者紹介してやるーか（笑）

「お主、さつきから随分と失礼じゃな（怒）  
やべつい口に出てたか

「いったじゃる神だと読心術は簡単にできるわ」

まじかよ、こいつまじて神なのか？

「わかった、神（仮）ここは何処なんだ？」

「飯はよけいじゃ！まあよいわこは生と死のはざまの空間じゃ」

ん、ちよつと待て今何て言った・・・生と死の空間だと

「おい！神様よ俺は死んだのか？」

神様の表情少し曇る

「お主には大変申し訳ないのじゃがこちらのミスでお主を殺してしまつたのじゃ」

なん・・・だと

そつか俺死んだのか

「本当に申し訳ない」

土下座するんじゃねえのかつて勢いで謝る神

ここまでされたら許してやるか

「おいおい、神様ある一者がそんなに謝るなよ！」

「誰にだってミスはあるだろーしよ」

「なんと、心の広い若者じゃ気に入った！」

「ハハありがとうよ神様」

「で、俺はどうすればいいんだ天国か地獄に行くのか？」

天国かー行ける気がしねえなんだかんだで悪行してたからなあガラ  
ス割ったり住居侵入したり蛍光灯割ったりなー

(作者のことじゃないよ、ほんとだよ)

ん、今なんか電波が気のせいか、しかし地獄かーいやだなあー

「こちらのミスじゃから天国でも地獄でもなくお主には、転生して  
もらっぞ」

「転生？転生つてあれか、よく二次創作とかのあれなのか？」

「そっじゃその転生じゃ！」

まじかよ、転生？

オタクの憧れの転生だと

きた、俺の時代・・・

「我が世の春が来たー！」いかん俺としたことが取り乱しちまった

冷静になれ俺、キーーーにいやCOOLになれ！

よし、落ち着いてきた！



次話に続く！

## プロローグ？（後書き）

感想おまちしています。

プロローグ？（前書き）

1日に2話は、キツイ！

誤字脱字&感想まっです

## プロローグ？

「さあ、お主は、何処の世界にいきたいのじゃ？」

「どこの世界かー迷うなー」

「迷っているようじゃなでは、こちらから行く世界を絞るかのぉ」

「この3つから選ぶのじゃー！」

・ネギま

・Fate

・なのは

まず、なのは・・・無いな肉体言語は、ダメ絶対！っと

Fateは、個人的には好きだがバーサーカーと某金ぴかに勝てる気がしねえ

てことは、ネギまー択じゃねえかよ

まあいいか赤松ワールドは可愛い子多いし！

「神様、俺はネギまの世界に行くよー！」

「ほう！ネギまの世界かでは、次にお主に能力を授けようかのう」

能力がーテンプレ的には1〜3多くて5個つてとこだな

「なあ神様、何個くらいその能力つてのくれるんだ？」

たのむ5個、5個くれ頼む300円上げるから！

「そうじゃのーお主に授ける能力の数は・・・」

5個だと言ってくれ

「お主は儂が気に入ってるので何個でもよいぞ！」

なん・・・だと！  
今何て言った・・・

「何個でも？」

「何個でもじゃー！」

「り、リアリイ？」

「イエスじゃ」

「ば、パードウン？」

「だから、イエスじゃてそれともいらんのか？」

「いるー！」

「だったら早く決めんかい」

「チートでもいいのか？」

「ちーと、とはなんじゃ？」

「反則的な能力のことだ」

「どんな能力でもバッチこいじゃー！」

まじかよ・・・

これまさか俺 t u e e e e e e e e e フラグなのか？  
じゃ割りきって能力決めますか！

・1つ目は、どんなスキルでも作れる【異能創作】  
【スキルメーカー】

・2つ目は、どんな物（武器）でも作れる【万物創作】  
【アカシックメーカー】

・3つ目は、成長限界の無い体（魔力&気）

・4つ目は、最高の盾ぶっちゃけ、ドリームオーラ（元ネタはロックスマン）

・5つ目は、イケメンにしてモテモテにして（フラグメーカー）

・6つ目は、魔眼、右目がギアスで左目が直視の魔眼

・7・・・は、あれもう無いぞ???7、7つ目はーあった  
アカシックレコードが使いたい！

「いいぞ！」

はや？？

こんなにはやく決めていいのかよ！

「大丈夫じゃ！儂偉いからドヤッ」

いやドヤッってされても

「神様あんた名前は？」

「儂の名前はオーディンじゃ」

「メチャメチャ偉いじゃん（驚）」

「だから、モーマンタイじゃ」

だまれ似非中国人www

「じゃ能力を与えよう！だがかなり激痛が走るので気お付けるのじ  
「や」



は？激痛？

「じゃいくぞー！」

ちよ W W W おま W W

二時間後！

痛かった死ぬかと思ったたげどんな痛みかって？いえたもんじゃねえ拷問とか肉体言語なんてもんじゃねえもつと恐ろしいものを見たぜ

「うむ、無事に能力は付加されたようじゃな」

無事だとこの様子を見て無事というのか貴様は？

「魔力と気は見つけられたかのう？」

魔力と気か・・・このじんわり暖かいのが気だな魔力はこのひんや

りした感じだな

「なあ、オーデイン魔力と気多くね？」

「うむ、儂特製バグ仕様じゃ！」

まあ多いにこしたことはないか

「さあ、そろそろネギまの世界に行ってもらおうぞ」

「ああ、わかった！だがその前に聞きたいことがある」

「なんじゃ？」

「ネギまの世界に行ってもいいが別に原作を壊してしまってもかまわないのだから？」

「大丈夫だ、問題ない！」

「じゃ逝っていい！○○○○よー！」

「ああ、行ってくるよ（逝ってこい？）オーディン」

下に穴が空き・・・

ん、穴？

そのまま急転直下！

「謀ったなオーディンんんんんん」

あいついつか殺す！

次話に続く

## プロローグ？（後書き）

書いてみてわかるこの難しさ普段何気なく見ている作品がどんなに大変か分かった今日この頃

## 主人公設定（前書き）

主人公設定です

## 主人公設定

名前【衛宮双緋】

身長177cm / 体重：63g

属性：中立

イメージカラー：黒

好きなもの：家族、鍛練

嫌いなもの：自称正義の魔法使い、仲間には傷つけるもの

顔：上の上、神様の力によりこれでもかというくらいのイケメン！

性格：基本優しい、キレると怖い、仲間や家族に傷付けた者には容赦がない

保有スキル

・異能創作【スキルメーカー】・・・ぶっちゃけどんなスキルでも創れる！チートも真つ青なバク

・万物創作【アカシックメーカー】・・・ぶっちゃけなんでも創れる！必要素材必要なし！等価交換なにそれおいしいの？を地でいくスキル、まあバク

・魔眼・・・右目が【ギアス】左目が【直視の魔眼】どっちも負荷なしwwルルー〇ユ&志〇の苦勞をあざ笑うかのような魔眼

・フラグメーカー・・・言わずもがな主人公の必須スキル別名フラグー級建築者

・完成【ジ・エンド】・・・黒神めだかが使うアブノーマル見たスキルを自分のものにしより高いものに昇華するスキル、主人公は「スキルメーカー」でこのスキルを自分の知っているスキルでさえ昇華できるように創作した

・無限の剣製【unlimited blade works】  
・某アーチャーの固有結界【スキルメーカー】にて創作後【アカシックメーカー】で宝具を創作し全ての宝具を投影することが可能になった、さらにそこに【ジ・エンド】が加わりもはや贗作ではなく本物以上の宝具を投影可能アーチャー涙目ww  
詠唱は・・・

I am the bone of my sword .  
体は剣で出来ている。

Steel is my body , and fire is  
my blood .  
血潮は鉄で 心は硝子。

I have created over a thousand  
d blades .  
幾たびの戦場を越えて不敗。

Unknown to Death .  
ただの一度も敗走はなく、

N o r k n o w n t o L i f e .

ただの一度も理解されない。

H a v e w i t h s t o o d p a i n t o c r  
e a t e m a n y w e a p o n s .

彼の者は常に独り 剣の丘で勝利に酔う。

Y e t , t h o s e h a n d s w i l l n e v e r h o  
l d a n y t h i n g .

故に、生涯に意味はなく。

S o a s I p r a y , u n l i m i t e d b l  
a d e w o r k s .

その体は、きつと剣で出来ていた。

・森羅万象【アカシックレコード】・・・主人公は、ゲーグ○とし  
か見ていない

## 宝具一覧

・王の財宝【ゲート・オブ・バビロン】

ランク：E〜A++

種別：対人宝具

レンジ：-



主人公が【アカシックメーカー】にて創作無限の剣製で投影された  
宝具と創作した宝具が入っているため某金ぴかより断然財宝が多い  
・【ドリームオーラ】

ランク：EX

ロック○ンの某オーラ

オーデインの力によって極限まで強化されているぶっちゃけオーデ  
インと主人公しか壊せない

【ステータス】

【筋力】：EX 【耐久】：EX 【敏捷】：EX 【魔力】：EX 【幸  
運】：EX 【宝具】：EX

リミット有りの場合はAまで低下

魔力&気オーデインのバク仕様によりほぼ しかも限界がないので  
使ったたびに増加する

魔術回路

凜の○倍これも使ったたびに増加するバク仕様

次話に続く

## 主人公設定（後書き）

だいぶバク仕様になってしまったWWW 設定を書いていたら楽しくなっつてついやってしまった後悔はしていない

感想まっています

## 第一話（前書き）

駄文です。

文才が欲しいと思う今日この頃

感想まっています。

## 第一話

SIDE：ソウヒ

「ヤバイ！ヤバイ！ヤバイって死ぬよ、死んじゃうよ、俺死ねるう  
うーーーーー」

皆様悲鳴から入って申し訳ない、衛宮双緋【えみやそうひ】だ

ただいま急転直下空の旅の途中である。

なぜかってあのくそヤロー

（オーデイン）のせいだよまったく次あったら一発殴らんと気がする  
まん。

と、まあ現実逃避はやめよう現状確認だな

・パラシュート無しのスカイダイビング中（20000〜30000  
m）

あれ、これ死亡フラグ？

嫌な予感

まで、まで、諦めるな俺、俺には能力があるんだ。

ん、能力の使い方わからん

あれーこれマジで詰んだかも

目の前地面だし・・・

やっぱ死亡フラグだな

もういいこのまま地面とキスだ！

男は度胸なんでも試してみるものさと某自動車整備工場勤務の青い  
つなぎのイイ男が言っていたしな

さあ地面とご対面だ

ドーーーーー

主人公は、気絶した

S I D E : E N D

キングクリームゾンっ！！

S I D E : ソウヒ

いてーよ、なんだよ死んでからろくな目にあつてねえーな俺  
まあいいそれよりも大事なことは、ここは何処で原作の何年前なん  
だ？

「どーやって確認すればいいんだ」

そう思つた矢先天から一枚の紙が落ちてきた

S I D E : 紙(神)

「これを見ているということは、無事に転生できたということじゃ  
な、お主を送つた場所はヨーロッパじゃ時間は原作の800年前じ  
ゃ、そして能力の使い方はー略ー略ーじゃ、俺はお主のこ  
とを見守っているぞ、ではな」

S I D E : 紙(神) E N D

S I D E : ソウヒ

ヨーロッパ？原作800年前だと・・・

エヴァフラグきたー

これは、介入するしかないでしょ

ん、でもあと200年後のことだな

「よし、修行をしよう」

京都にいこう的なので修行開始

「まず、認識障害結界貼つてと」

「次に、ダイオラマ球かーよし、混ぜてこねてつと」

【アカシックメーカー】使用中

5分後

「完成つと！」

「まず、中の時間をーこっちの1日が中では、10日くらいでいいか」

「じゃ、入るか」

S I D E : E N D

次話に続く



## 第一話（後書き）

感想まっています。

## 第二話（前書き）

今回はいつもより断然短い&駄文です。

ハーレムメンバーのアンケートを行いたいと思います！

感想に好きなキャラを書いていて送って貰えると幸いです。

## 第二話

SIDE：ソウヒ

「ダイオラマ球（以降別荘と表示）の中に入って見たがなーんにもねえな」

一面見渡して見ても真っ白である。

「まず、修行の前に家でも作るか」

さあ、どんな家にするか  
武家屋敷？洋館？城？

城かー

城いいなあよし城にしよう

「そつと決まったら早速作るか」

【アカシックメーカー】発動

城創作つと

「混ぜてーこねてーっ」と

いやいやそんなんで作れないだろby作者

「大丈夫だ、問題ないキリッ」

あれ、今俺誰に向かって喋ってたんだ？

電波か？

いやこれがかの有名な宇宙意思なのか？

【主人公取り乱し中です】

落ち着け俺COOLにだ………

よし落ち着いた！

「さすがに、城となると時間がかかるか」

うーん暇になっちゃったなあ

そうだ別荘の設定変えよう

まず自然欲しい

これは、自分で作るから問題ないな

じゃ、作りますか

【アカシックメーカー】発動

植物の創作つと

「混ぜてーこねてっ」と

いやいやだからそん（ry

うるさいお前の文才がないのが悪いんだ黙ってる

よし、植物もできて外観は良くなったな！

「まだ城は、できないのか？」

ふと後ろを見ると  
巨大な城が！

ぽっかーん

【主人公放心中】

「でか」

その一言しかでなかったそうだ

次話に続く

## 第二話（後書き）

ハーレムメンバーのアンケートよろしくお願ひします

次回からは、本格的に修行です！



## 第三話（前書き）

またまた駄文です。

## 第三話

SIDE:ソウヒ

ぽっかん

「でっけー」

今、俺は自分で作った城のデカさに呆れている

「誰だよ、こんなデカイ城作ったの？」

いやいやお前だよ

「まあーいつか大は小をかねるって言うし」

まあいいや

さあ修行だ！

修行つてまずは、まにすればいいんだろーなあー

まずは、祈りを捧げながらの1日1万回の正拳付きだな

「よし、開始！」

キングクリムゾン！

無理！

祈りを捧げながら1日1万回は、無理！

祈り捧げながらは、2千回が限界だ、これは、毎日やって増やして



才能ないのかなあ俺？

否、気合いがたりねえ

筋肉ダルマも言っていた世の中気合いだ気合いがあればなんでもできると

すーはーすーはー

よし！

「プラクテええー・ピギ・ナルううう　アールデスカットおおー  
！……」

ぼー！

付いた日が付いたぞこれで俺も魔法使いだー！

こんな感じで1日は終わっていくうううううー

次話に続く！

### 第三話（後書き）

あれえ主人公正拳×2000回と魔法の練習しかしてねえ

……まあ次からは、チート&バグ全開です！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3473ba/>

---

転生妄想日記

2012年1月11日23時52分発行